

問題【英語】

日本語文の下線部を英語にするとき、かっこ内の適切な方の単語を選びましょう。

(1) この絵を見てください。

Please (see / look) at this picture.

(2) あなたはここから金華山を見ることができます。

You can (see / look) Mt. Kinka from here.

(3) 暗いところでは、私たちは何も見えません。

We cannot (see / look) anything in the dark.

(4) 私がその赤ちゃんの面倒を見ています。〔高校レベル〕

I (see / look) after the baby.

豆知識 雑学コラム

seeとlook、同じ「見る」でも…

いきなりですが、次の二つの文を考えてみます。

- ・金華山を見る
- ・映画を見る

二つの文の「を見る」を「が見える」に変えてみましょう。

- ・金華山が見える
- ・映画が見える

「金華山が見える」は日本語として自然ですが、「映画が見える」は不自然ですね。このように「見る」や「見える」という日本語にも微妙な違い（ニュアンスの違い、と言います）がありますが、私たちはその違いを把握できます。そのため、他の言葉に置き換えられるかが正しく判別できます。

英語も日本語と同じように、ニュアンスの違いに応じて英単語を使い分けます。今回の問題で取り上げたseeやlookおよびwatchはすべて「見る」という意味ですが、次のように使い分けます。

- ・see…自分の思いに関係なく、視界に入って「見える」
- ・look…対象を「見よう」と意識する
- ・watch…対象を「じっと見守る」

また、seeは視界に入って見える対象がなければならず、watchもじっと見守る対象がいなければいけないので、これらの対象は「seeやwatchの直後」に来ます。一方でlookはただ対象を見ようと意識すればよく、見ようとす対象は「atやforなどの後ろ」に来ます。この使い分けに沿うと、(1)と(4)は見ようと意識する「look」が、(2)と(3)は自分の思いに関係なく視界に入ってくる「see」が正解とわかります。

同じような使い分けが、「聞く」という意味のhearとlistenにも当てはまります。

- ・hear…自分の思いに関係なく、耳に入って「聞こえる」
- ・listen…ものを「聞こう」と意識する

hearの対象は「hearの直後」に来る、listenの対象は「toの後ろ」に来る。

日本語にすると同じ「見る」や「聞く」ですが、このように使い分ける必要があります。

【解答】

(1) look (2) see (3) see (4) look